本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

1490・2150

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■本機の特長

- 電池が消耗しても、入力したデータが保持されるメモリー(EEPROM)を使用しています。
- ELバックライト…暗いところでも表示を明るく照らします。
- テレメモ…会社名、個人名、各種電話番号、一言メモなどのデータをメモリーできます。
- パーソナルメモ…銀行口座番号、運転免許証番号など、個人で所有する番号をメモリーできます。
- その他、5本の時刻アラーム、時報、タイマー、1/100秒ストップウォッチ機能が付いています。

カシオ計算機株式会社

MA9908-002201A

目　次

安全上のご注意 1
本機をご使用になる前に 4
- タッチスクリーンについて …… 4
- キーの名称と働き …… 4
- データの保護について …… 5

操作のしくみと表示の見方 6
テレメモ、パーソナルメモの使い方 8
- モードの種類 …… 6
- メモリーのしくみ …… 10
- データ編集 …… 11
- パーソナルメモの入力について …… 16
- データサーチ …… 20
  - 通常データサーチ …… 20
  - インデックスサーチ …… 21

アラーム・時報の使い方 22
タイマーの使い方 24
ストップウオッチの使い方 26
時刻の合わせ方 26

製品仕様 …… 29
(付録)
- Q&A …… 30
- メモリー件数について …… 31

ご使用上の注意 …… 32
電池交換について …… 34
保証・アフターサービスについて …… 36
保証規定 …… 37
保証書 …… 裏表紙
カシオサービスセンター所在地 …… 裏表紙

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意) を意味しています。
(左の例は感電注意)



⃠記号は「してはいけないこと」(禁止) を意味しています。
(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制) を意味しています。
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。





電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となることがあります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

金属製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。



本機をご使用になる前に

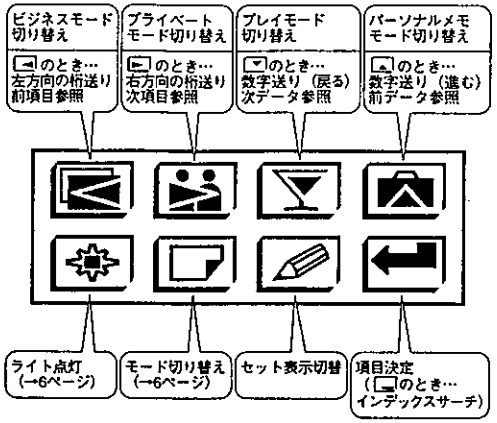
タッチスクリーンについて

本機は「タッチスクリーン」で操作が行なうことができます。操作の際は以下の点にご注意ください。

- 本機のキー操作は「指先」で行なってください。ボールペンなど先のとがった器具で押すと、キー（タッチスクリーン）に不具合を与えることがあります。
- 本機の表示部は、ガラス面の上にタッチスクリーンを重ねたものです。そのため、見る角度によっては「ニジミ（ニュートンリング現象）」が見えることがありますが、機能上の支障はありません。
- +60℃以上のところに本機を長時間放置すると、キー（タッチスクリーン）に不具合を与えることがあります。
- 本機は防水構造ではありません。多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- タッチスクリーンは、押し方によっては隣のキーに入ることもありますので、1つ1つ確実にゆっくり押してください。
- 温度が高いところや標高が高いところでは、タッチスクリーンがふくらむことがあります。元の温度、標高になれば戻ります。タッチスクリーンがふくらんでいても、機能上の支障はありません。

表示キーの名称と働き

本機は、操作できるキーを表示します。それぞれのキーの働きは以下のとおりです。
キーの働きを理解しておくと、本機を簡単に操作できるようになりますので、覚えておいてください。



■データの保護について

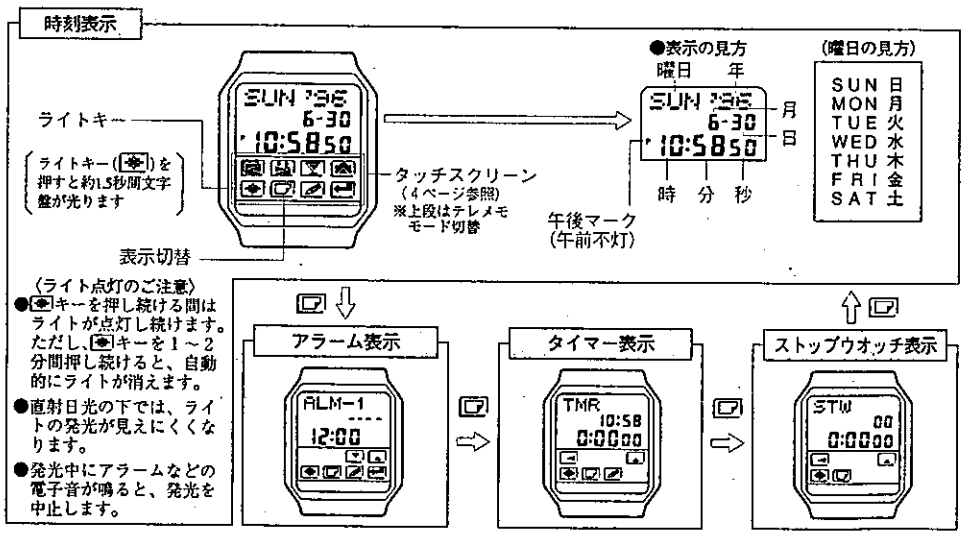
- 本機は電池が消耗しても記憶させた内容が保持されるメモリー(EEPROM)を採用しておりますが、以下の場合には、記憶内容が消えたり、変化することがありますのでご注意ください。
  - ・本体を分解したとき
  - ・故障・修理のとき
  - ・極度の静電気や衝撃を与えたとき
  - ・極端な外的環境下(特に低温下)で使用したとき
  - ・電池交換の方法をまちがえたとき
- 「万一の事故」、「故障・修理」、「腕時計本体の紛失・盗難」などのときのために、特に重要なデータについては必ず「名刺など元になるものを残しておく」か、「別のノートなどに書き写す」などして控えを残しておいてください。
  ※付属の備忘録を利用すると便利です。

〈お願い〉
電池が消耗すると、"BATT.!"マークが点滅し、メモリーしたデータを見ることができなくなります(34ページ参照)。
"BATT.!" が点滅するときは、お早めに電池交換されることをおすすめします。
なお、電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンター(裏表紙に記載)にお申し付けください。

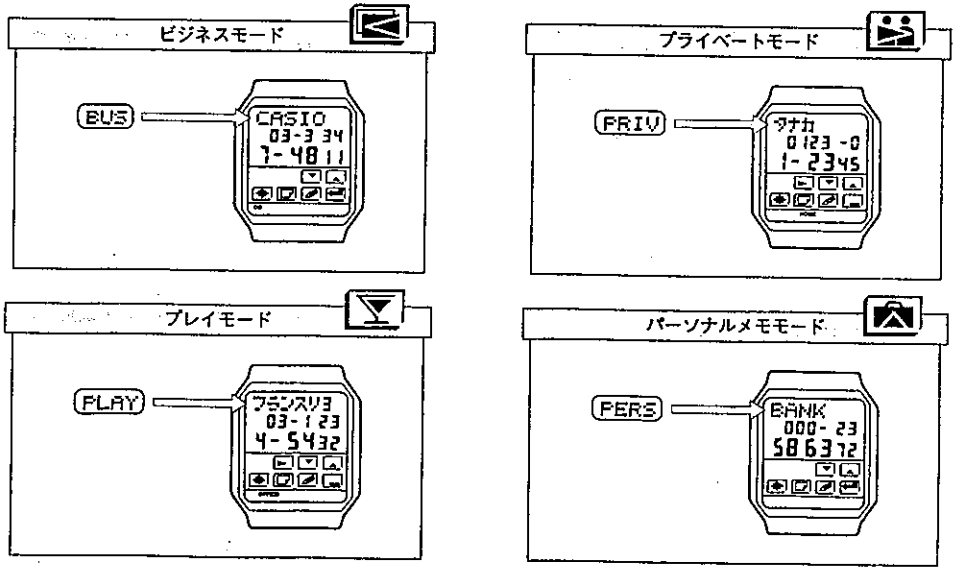
本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

操作のしくみと表示の見方

キーを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。
表示切り替え後、2～3分操作を行なわないと、自動的に時刻表示に戻ります。(ストップウオッチ表示を除く)



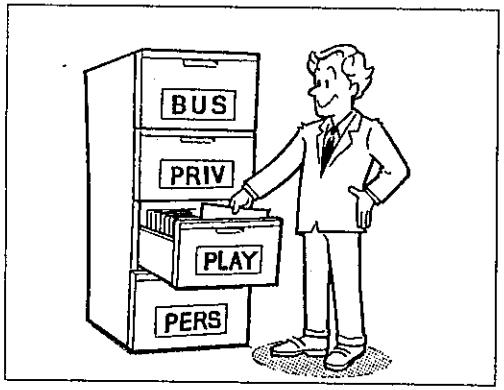
時刻表示での上段に表示されているタッチスクリーンのキーを押すと、直接テレメモまたはパーソナルメモモードに入ることができます。
いずれのモードのときでも、キーを押すと時刻表示に戻ります。
※各モードについては、8ページ「テレメモ、パーソナルメモの使い方」を参照してください。



テレメモ、パーソナルメモの使い方

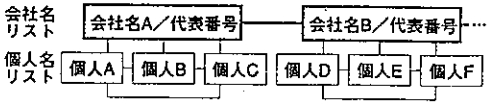
■モードの種類

入力したいデータの内容によって、入力先を分けることができます。
1件ごとの内容によって、メモリーできる総件数が変わります。なお「名前8文字＋数字12桁」（または名前16文字）で入力すると最大200件までメモリーできます。
（詳しくは31ページ「付録」参照）



●取引先など、会社単位での知人のデータを入力したい→ ビジネスモード（BUS）

会社の名前と代表番号、およびその会社に属する複数の個人の電話番号、FAX番号などを入力できます。



データ内容
1つの会社名に複数の個人データが入ります。
ただし、会社名または代表番号を入力しないと、個人名の入力はできません。

会社名リスト：会社名（最大32文字）、代表番号（最大12桁）
個人名リスト：個人名（最大32文字）、各種電話番号*（最大12桁×8）、メモ（最大32文字）
*各種電話番号には以下の4種類が2ページずつ（合計8ページ）あります。
OFFICE（会社）／HOME（自宅）／CALL（ポケットベル、携帯電話など）／FAX（ファックス）

※会社名リストのときは、表示下部に“CO”が表示されます。また、個人名リストのときは表示している番号の種類に合わせてマークが表示されます。
（例「会社」のときは“OFFICE”）

●私的な友人のデータを入力したい→ プライベートモード（PRIV）

個人的な友人の「会社の電話番号」や「自宅の電話番号」などを入力できます。



データ内容
個人名（最大32文字）、各種電話番号*（最大12桁×8）、メモ（最大32文字）

*各種電話番号には以下の4種類が2ページずつ（合計8ページ）あります。
HOME（自宅）／OFFICE（会社）／CALL（ポケットベル、携帯電話など）／FAX（ファックス）

※表示している番号の種類に合わせてマークが表示されます。
（例「自宅」のときは“HOME”）

●気になるお店やイベントなどのデータを入力したい→ プレイモード（PLAY）

店などの名前と連絡先（電話／FAX番号）、一言メモなどを入力できます。



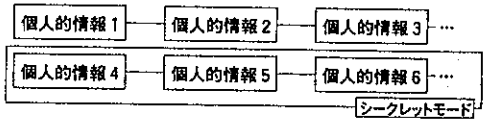
データ内容
名前（最大32文字）、各種電話番号*（最大12桁×4）、メモ（最大32文字）

*各種電話番号には以下の2種類が2ページずつ（合計4ページ）あります。
OFFICE（会社）／FAX（ファックス）

※表示している番号の種類に合わせてマークが表示されます。
（例「ファックス」のときは“FAX”）

●自分自身のデータを入力したい→ パーソナルメモモード（PERS）

自分自身の個人的情報（クレジットカード、運転免許証、パスポートの番号など）を入力できます。
※このモードのみ、「シークレット機能」があり、他人が簡単に見ることができないようにすることができます。



データ内容
プリセット項目*、タイトル（最大32文字）、番号（最大12桁×2）

*プリセット項目は以下の12種類から選べます。

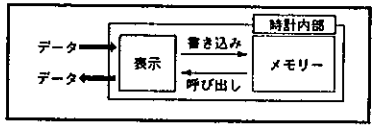
BANK	銀行口座	P-PORT	パスポート番号
CHK-ACCT	小切手口座	PIN	各種暗証番号
C-CARD	クレジットカード	SAV-ACCT	預金口座
D-LIC	運転免許証	SPEC	特別な日／時刻
EMER	緊急連絡先	V-MAIL	ボイスメール／テレホンアンサリング
I-NET	インターネット（ID番号）	▼OTHER	その他
LOCK	ロッカー／荷物番号		

※▼OTHERを選んだときは、タイトルのみ表示されます。（“▼OTHER”は表示されません）

※タイトルの各単語については30ページを参照

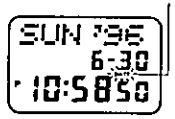
■メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。
本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



●電池が消耗すると

電池の消耗時期が近づくと、右図のような“電池切れ予告表示”となります。この表示になるときは、お早めに電池交換を行なってください。
※電池交換は、必ずお買い上げまたは最寄りのカシオサービスセンターに申し付けください。



電池切れ予告中は、メモリーを保護するためにテレメモおよびパーソナルメモモードに入ることができなくなります。また、アラームやタイマーなどの報知音、操作確認音、ライト点灯は行ないません。

■データ編集

それぞれのモードで、データを入力（INPUT）、修正（EDIT）消去（CLEAR）することができます。
また、あと何件のデータをメモリーできるか、およびそれぞれのモードで何件のデータがメモリーされているかを見ることもできます。（MEMORY）

●編集メニューについて

それぞれのモードのときに、▣キーを1～2秒間押すと、編集メニューが表示されます。

編集メニューは4種類あり、▲、▼キーで切り替わります。もう一度▣キーを押すと元の表示に戻ります。

●INPUT?（新規データ入力）
●EDIT?（データ修正）
●CLEAR?（データ消去）
●MEMORY?（メモリー容量確認）

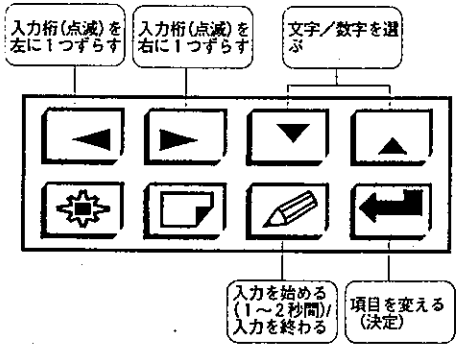
「新規データ入力」表示



※はじめに前回使用した編集メニューを表示します。
（ただし、前回“MEMORY?”で終了したときは、はじめに“INPUT?”を表示します）
※▲、▼キーを押し続けると表示が早く切り替わります。
※データが1件も入力されていないときは、EDIT、CLEARは表示されません。また、ビジネスモードの会社名リストで、個人名が入力されているときはCLEARは表示されません。

●データ入力（修正）時の基本的操作

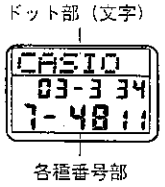
データ入力（修正）時には、操作可能のキーが表示されます。それぞれのキーの働きは以下のとおりです。キーの働きを理解しておくと、簡単に操作できるようになりますので、覚えておくと便利です。



※▶、◀、▲、▼の各キーは、押し続けると早く進みます。

●入力できる文字／数字

本機に入力できる文字／数字は以下のとおりです。
ただし、文字が入力できるのは、上段に表示されるドット部（名前やメモなど）のみとなります。電話番号、FAX番号などの各種電話番号部分は、数字、ハイフン（－）しか入力できません。



＜入力できる文字／数字…会社名、名前、メモなど＞
カタカナ（ア～ン、小文字ァィゥェォッャュョ、゛゜）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（ー、．、／、：、？、＆、＃、＊）、空白

＜入力できる数字…電話番号、FAX番号など＞
数字（0～9）、ハイフン（－）、空白
いずれも ▲、▼ キーを押すごとに変わります。
それぞれ押し続けると早く進みます。
※カタカナは押し続けるとア段（ア⇔カ⇔サ…）で早送りされます。

＜自動ソート＞
名前部の8文字を1桁目から比較し、自動的に整理するものです。



（自動ソート中表示）

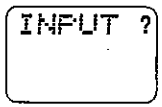
順序は、スペース（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－、．、／、：、＆）となります。

INPUT（新規データ入力）… 新しくデータを入力するときに選びます。

＜データ入力の手順＞
準備：データ入力をしたいモードを選びます。
（「モードの種類」参照）

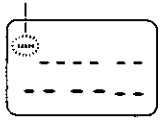
(1) ⎚ キーを1～2秒間押し、▲、▼ キーで「INPUT?」を選びます。

「新規データ入力」表示

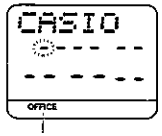


(2) ↵ キーを押します
→名前部が点滅します。
▶、◀ キーで桁を選び、▲、▼ キーで文字を選ぶという操作を繰り返して名前を入力します。

名前部



(3) ↵ キーを押すごとに入力項目が変わります
入力したい項目を選び、名前と同様に▶、◀、▲、▼ キーで正しく入力します。



項目名表示

※入力できる項目は、選んだモード（入力先）によって変わります。それぞれの内容は右記のとおりです。

＜ビジネスモード＞（ソート表示）
会社名→代表番号→個人名→会社電話→自宅電話
（代表番号：└CO┘、個人名：└OFFICE┘、自宅電話：└HOME┘）
→携帯電話→FAX番号→メモ
（携帯電話：└CALL┘、FAX番号：└FAX┘、メモ：└MEMO┘）

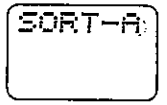
＜プライベートモード＞
個人名→自宅電話→会社電話→携帯電話
（自宅電話：└HOME┘、会社電話：└OFFICE┘、携帯電話：└CALL┘）
→FAX番号→メモ
（FAX番号：└FAX┘、メモ：└MEMO┘）

＜プレイモード＞
個人名→会社電話→FAX番号→メモ
（会社電話：└OFFICE┘、FAX番号：└FAX┘、メモ：└MEMO┘）

＜パーソナルメモモード＞ …16ページ参照
プリセット項目選択→タイトル（名前）→番号

※各種電話番号は2ページずつあり、1ページ目に数字を入力したときに ↵ キーを押して項目を切り替えると2ページ目入力表示となります。なお、1ページ目に数字を入力しないで ↵ キーを押すと、2ページ目がとばされ、次の項目の1ページ目の入力表示になります。
※数字を入力しなかったページは、サーチ時には表示されません。
※ビジネスモードでは、会社名／代表番号の入力後 ↵ キーを押すと、（ソート表示後）個人名入力表示となります。会社名／代表番号のいずれかを入力しないと、そのあとに続く個人名や各種番号は入力できません。また、個人名入力表示から「新規データ入力」に入ったときは、メモ入力後 ↵ キーを押すと個人名入力表示に戻ります。

(4) 入力が終わりましたら、⎚ キーを押します
→ソート表示（右図）後、入力したデータを表示します。



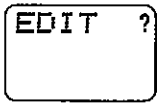
ソート表示

※入力途中表示のまま2～3分すると、そこまでのデータを記憶し、自動的に時刻表示に戻ります。

残りメモリー件数が少なくなると、各種番号の項目が表示されなかったり、入力可能な文字数が少なくなることがあります。また、入力途中に残りメモリーがなくなる（FULLと表示）と、それ以上入力することができなくなります。このときは、不要データを消してから、再度入力操作を行なってください。

EDIT（データ修正）… 入力したデータを修正するときに選びます。

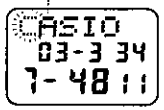
＜データ修正の手順＞
準備：データ修正したいページにします。
（20ページ「データサーチ」参照）



(1) ⎚ キーを1～2秒間押し、▲、▼ キーで「EDIT?」を選びます。

(2) ↵ キーを押します
→名前部が点滅します。
入力時と同様に、▶、◀ キーで桁を選び、▲、▼ キーで正しく入れ直します。

名前部



▼ キーを1回押すと



※電話番号など名前以外のデータを修正するときは、↵ キーを押して修正したい項目を選びます。

(3) 修正が終わりましたら、⎚ キーを押します
→ソート表示後、修正後のデータを表示します。

※ビジネスモードで1つの会社に個人名が入っているときに、その会社名を空白、代表番号をハイフン（または空白）に修正すると、会社名が"？？？？？？"と表示されます。
※修正途中表示のまま2～3分すると、そこまでのデータを記憶し、自動的に時刻表示に戻ります。

CLEAR（データ消去）… 入力したデータを消すときに選びます。

＜データ消去の手順＞
準備：データを消したいページにします。
（20ページ「データサーチ」参照）



(1) ⎚ キーを1～2秒間押し、▲、▼ キーで「CLEAR?」を選びます。

(2) ↵ キーを押します
→選んだ内容が表示され、"SURE?" 表示となります。



(3) ↵ キーを押します
→ ソート、CLEAR表示後、データが消されます。

※データ消去後は、通常に戻り、次のデータを表示します。残りデータがないときは、空ページとなります。
※ビジネスの個人名、プライベート、プレイの各モードでは、個人名のページ内すべてのデータが消されます。
※ビジネスモードで1つの会社名を消すときは、すべての個人名のデータを上記操作で消してから、会社名を表示させて上記操作を行ないます。

MEMORY（メモリー容量確認）

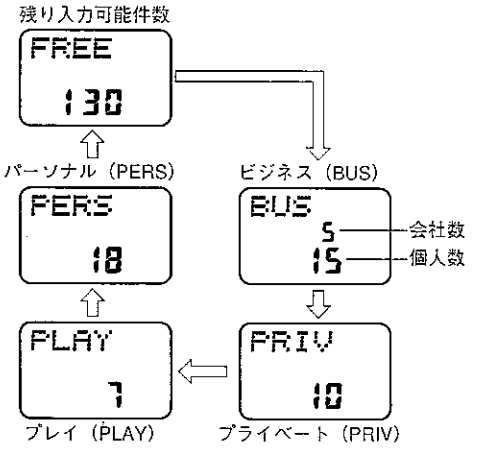
あと何件のデータをメモリーできるか、およびそれぞれのモードで何件のデータがメモリーされているかを見ることができます。

準備：テレメモ（ビジネス、プライベート、プレイ）またはパーソナルメモのいずれかのモードにします。

(1) ⎚ キーを1～2秒間押し、▲、▼ キーで「MEMORY?」を選びます。

(2) ↵ キーを押します
→残り入力可能件数とそれぞれのモードでのメモリー件数を表示します。

※残り入力可能件数は、「名前8文字＋数字12桁」または「名前16文字」のデータがあと何件入力できるかを表わしたものです。1件の入力内容が多いときは、メモリーできる件数はこれより少なくなります。
※データ数を表示している間、該当モードのマークが点滅します。
※ビジネスモードでは、上段に会社数、下段に個人数を表示します。



(3) ▣ キーを押します
→時刻表示に戻ります。

※このとき、↵ を押すと「MEMORY?」表示に、また⎚ キーを押すと通常テレメモモードに戻ります。
※上記表示のまま、2~3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

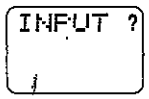
パーソナルメモの入力について

パーソナルメモモードでは、12種類のプリセット項目があります（10ページ参照）。それぞれ、プリセット項目に加え、タイトル（最大32文字）と番号（最大12桁×2）を入力できます。

<パーソナルメモモード／データ入力の手順>

準備：パーソナルメモモードを選びます。

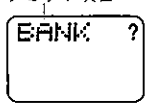
(1) キーを1～2秒間押し、▲、▼キーで「INPUT？」を選びます。



プリセット項目

(2) [キーを押します]

→プリセット項目が表示されます。

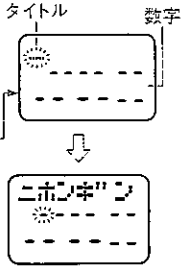


タイトル　数字

(3) [▲、▼キーで項目を選びます]

(4) [キーを押します（項目決定）]

→タイトル1桁目が点滅します。▲、▼、▶、◀キーでデータを入力します。



タイトルは最大32文字*、数字は最大24桁（12桁×2）まで入力できます。
タイトル入力後、キーを押すと数字入力表示となります。（数字は12桁まで入力後、キーを押すと次画面に切り替わり、続けてさらに12桁入力できます）
*プリセット項目の文字数は、タイトルの文字数には含まれません。

(5) [入力が終わりましたら、キーを押します]

→ソート表示後、入力したデータを表示します。

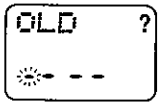
※キーを押すと時刻表示に戻ります。
※入力途中表示のまま2~3分すると、そこまでのデータを記憶し、自動的に時刻表示に戻ります。

<パーソナルモードでの暗証番号入力>

パーソナルモードは、「通常データ」と「シークレットデータ」に分けてメモリーできます。シークレットデータとしてメモリーすると、4桁の暗証番号を入力しないと見ることができません。

※パーソナルメモモードでのデータ入力、データサーチ方法は他のモードと同様です。ここでは暗証番号の入力のみを記載します。

(5) [キーを押します]



→暗証番号入力表示（"OLD？"）となります。

(6) ▲、▼キーで数字を選び、▶、◀キーで点滅を移動させる操作を繰り返し、すでに登録してある暗証番号を正しく入力します。

(7) [キーを押します]



→暗証番号が合っているときは、暗証番号新規入力表示（"NEW?"）になります。

→暗証番号が間違っているときは、"ERROR!"と表示され、約1秒後に暗証番号入力表示（"OLD?"）になります。このときは、もう一度上記操作を行なってください。



注）4桁のうち、1つでも"－"があるときは、暗証番号の設定はできず、パーソナルメモモード（通常データ）に戻ります。このときは、もう一度上記操作を行なってください。

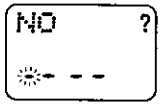
以降、17ページ「暗証番号の設定」を参照

●暗証番号の消去

暗証番号を消去すると、シークレットデータを一度にすべて消すことができます。引き続き、新しく暗証番号を設定することができます。

(1) パーソナルメモモードを選びます。

(2) [キーを押します]



→暗証番号入力表示（"NO?"）となります。

(3) [キーを1~2秒間押します]



→"CLEAR？"表示となります。

(4) [キーを押します]



→"SURE?"表示となります。

(5) [キーを押します]

→ソート、CLEAR表示後、シークレットデータが消されます。

※データ消去後は、暗証番号新規入力表示（"NEW?"）になります。

以降、17ページ「暗証番号の設定」を参照

●暗証番号の設定

(1) パーソナルメモモードを選びます。

(2) [キーを押します]



→"NEW?"と表示されます（暗証番号新規入力表示）



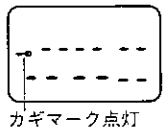
(3) ▲、▼キーで数字を選び、▶、◀キーで点滅を移動させる操作を繰り返し、4桁の暗証番号を設定します。

※暗証番号は、任意に設定できます。ただし、0000など、他人にわかりやすい数字はできるだけお避けください。



(4) [キーを押します]

→"OK!"と表示され、約1秒後にシークレットデータへ入ります。



注）4桁のうち、1つでも"－"があるときは、暗証番号の設定はできず、パーソナルモード（通常データ）に戻ります。このときは、もう一度上記操作を行なってください。

※シークレットデータのとき、キーを押すとパーソナルメモモード（通常データ）に戻ります。また、キーを押すと時刻表示に戻ります。
※シークレットデータのまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

●暗証番号の変更

一度設定した暗証番号は、変更することができます。
※暗証番号を変更しても、シークレットデータには影響ありません。

(1) パーソナルメモモードを選びます。

(2) [キーを押します]



→暗証番号入力表示（"NO?"）となります。

(3) [キーを1~2秒間押します]

→"CLEAR？"表示となります。

(4) [▼（または▲）キーを押します]



→"CHANGE？"表示となります。

※▲、▼キーのいずれかを押すごとに"CLEAR？"と"CHANGE？"が切り替わります。"CLEAR？"は暗証番号とシークレットデータをすべて消去するときに選びます（「暗証番号の消去」参照）。

●シークレットデータへの入り方

シークレットデータを入力するときや、シークレットデータを見るときは、はじめに設定した暗証番号を入力する必要があります。

(1) パーソナルメモモードを選びます。

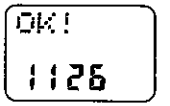
(2) [キーを押します]



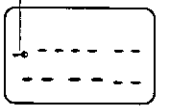
→暗証番号入力表示（"NO?"）となります。

(3) ▲、▼キーで数字を選び、▶、◀キーで点滅を移動させる操作を繰り返し、4桁の暗証番号を入力します。

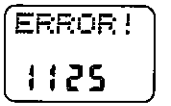
(4) [キーを押します]



→暗証番号が合っているときは、"OK!"と表示され、約1秒後にシークレットデータへ入ります。（カギマーク点灯）



→暗証番号が間違っているときは、"ERROR!"と表示され、約1秒後に暗証番号入力表示（"NO?"）に戻ります。このときは、もう一度上記(3)~(4)の操作を行なってください。



※シークレットデータのとき、キーを押すとパーソナルモード（通常データ）に戻ります。また、キーを押すと時刻表示に戻ります。
※シークレットデータのまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

データサーチ（入力したデータを探す）

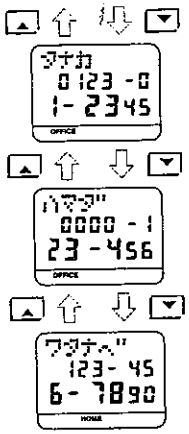
入力したデータを見るときは、以下の手順で探します。

●通常データサーチ

(1) モードを選びます。
→ 前回最後に表示させたデータが表示されます。

(2) ▲、▼キーを押して、見たいデータ（名前）を探します。

▲キーを押すと上方向（前のデータを表示）に、▼キーを押すと下方向（次のデータを表示）に、データが進みます。
※それぞれ押し続けると早く進みます。

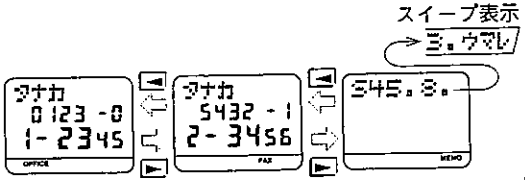


※名前やメモを７文字以上入力しているときは、右から左へスイープ表示されます。

(3) 見たいデータ（名前）が表示されたら、▶または◀キーを押して、データ内容（電話番号など）を探します。

▶キーを押すと右方向（次の項目を表示）に、◀キーを押すと左方向（前の項目を表示）にデータの内容が進みます。
※それぞれ押し続けると早く進みます。
※入力した内容のみが表示されます。

スイープ表示



ビジネスモード(BUS)のときは、◀キーを押すことで、会社名リストと個人名リストの切り替えができます。

＜ビジネスモードでのデータの探し方＞
(1) 会社名リストで、▲、▼キーを押して会社を選びます。
(2) 見たい会社が表示されたら▶を押して、個人名リスト表示に切り替えます。
(3) 個人名リストで、▲、▼キーで個人名を選びます。
(4) 見たい個人名が表示されたら、▶、◀キーを使って、その人のデータ内容を探します。

(4) ◀キーを押すと、時刻表示に戻ります。

●インデックスサーチ（頭文字で探す方法）

プライベートモードおよびプレイモードでは、名前の頭文字1文字からデータを探し出すことができます。

(1) モードを選びます。
→前回最後に表示させたデータが表示されます。

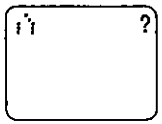
(2) ◀キーを押します



→インデックスサーチ表示*となります。
*そのとき表示していた名前の頭文字を表示します。

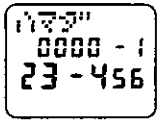
(3) ▲、▼キーで見たい頭文字を選びます

入力されているデータの頭文字が順番に表示されます。
※それぞれ押し続けると早く進みます。



(4) ◀キーを押します
→該当の頭文字のデータが表示されます。

※同じ頭文字のデータが複数あるときはその頭文字の先頭のデータを表示します。引き続き、▲、▼キーでページめくりができます。



(5) ▣キーを押すと、時刻表示に戻ります。

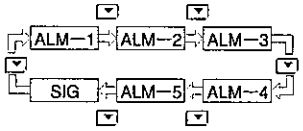
アラーム・時報の使い方

5本の「月日時分」を設定できるアラーム機能と、毎正時に電子音で知らせる時報機能があります。

アラームの使い方

●アラーム時刻の確認

アラーム表示のとき、▼キーを押します



の順で表示が切り替わります。



※▲キーを押すと、逆方向に表示が切り替わります。
※▼、▲キーともそれぞれ押し続けると早く進みます。

●アラーム時刻の設定

(1) アラーム表示のとき、▼（または▲）キーを押して、設定したいアラーム番号を選びます。

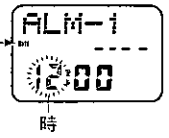


(2) ◀キーを1～2秒間押します
→セット待機表示（SET?）となります。

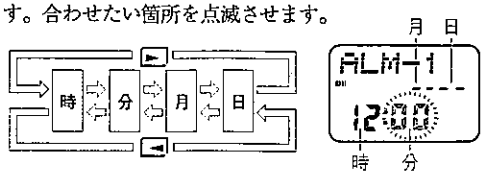
セット待機表示



(3) ◀キーを押します
→アラーム時刻の「時」が点滅し、時合わせ表示となります。
“”が点灯しアラームONになります。



(4) ▶キーを押します
▶キーを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。合わせたい箇所を点滅させます。



※◀を押すごとに逆方向に点滅が移動します。

(5) ▲または▼キーを押します
→▲キーを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進みます。▼キーを押すごとに点滅箇所の数字が１つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早く進み（戻り）ます。

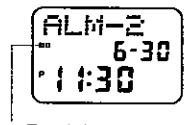
▶（または◀）キーを押して合わせたい箇所を選び、▲または▼キーを押して数字を選ぶという操作を繰り返して、時・分・月・日を合わせます。
※「月」「日」のセットを行なうか行なわないかでアラームの鳴るタイミングを変えることができます。
●時分のみ設定（月、日ともセットしない）
→毎日同じ時刻に報知
●月・時分のみ設定（月のみセットする）
→指定月の毎日同じ時刻に報知
●日・時分のみ設定（日のみセットする）
→毎月指定日の同じ時刻に報知
●月日時分すべて設定（月日ともセットする）
→指定月日時刻に報知

(6) セットが終わりましたら、◀キーを押します
→アラーム表示に戻ります。

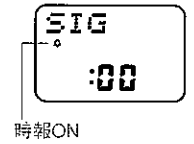
※点滅表示のまま、2~3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。
※▣キーを押すと、直接時刻表示に戻ります。

●アラーム・時報のON/OFF

(1) アラーム表示のとき、▼（または▲）キーを押して、ON/OFFを設定したい表示（アラームまたは時報）を選びます。



(2) ◀キーを押します
→◀キーを押すごとにマークが点灯／消灯を繰り返します。



※アラーム表示のときは“”マーク、時報表示のときは“”マークが点灯／消灯します。
マークが点灯しているときがON、消灯しているときがOFFとなります。

●デモアラーム

アラーム表示のとき、◀キーを1~2秒間押し続けます

→押し続けている間、アラーム音が鳴ります。
※時報表示のときに◀キーを1~2秒間押し続けると、時報音が鳴ります。

タイマーの使い方

1秒単位で24時間までの減算計測を行ないます。残り時間が0になると10秒間報音して知らせます。また何度も繰り返して計測できるオートリピート機能もあります。

■タイマー時間の設定

タイマー時間は1分単位、最大24時間まで設定できます。
※24時間を設定するときは、"0:00"にします。

(1) タイマー表示のとき、[L]キーを1~2秒間押します

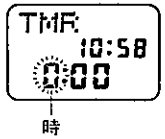
→セット待機表示(SET?)となります。

セット待機表示



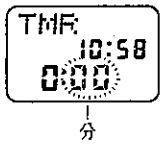
(2) [L]キーを押します

→タイマー時間の「時」が点滅し、時合わせ表示となります。



(3) [L]キーを押します

[L]キーを押すごとに点滅箇所が「時」、「分」を移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
※[L]キーを押しても同様に点滅が移動します。



(4) [▲]または[▼]キーを押します

→[▲]キーを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進みます。[▼]キーを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早く進み(戻り)ます。



上記(3)~(4)の操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。
なお、タイマー時間が点滅しているときに[L]を押すごとに「リピートタイマー」と「オートリピートタイマー」が切り替わります。
※オートリピートタイマーは、"⧗"が点灯します。

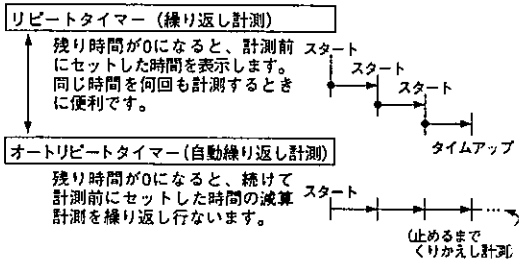
(5) セットが終わりましたら、[L]キーを押します

→タイマー表示に戻ります。

※点滅表示のまま、2~3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。
※[L]キーを押すと、直接時刻表示に戻ります。

●「リピートタイマー」「オートリピートタイマー」の切り替え

タイマー時間が点滅しているときに[L]キーを押すごとに「リピートタイマー」と「オートリピートタイマー」が切り替わります。
オートリピートタイマーを選ぶと、"⧗"が点灯します。



■タイマーの使い方

タイマー表示のとき、[▲]キーを押します

→減算計測を開始し、残り時間を1秒単位で表示します。

残り時間が0になると10秒間報音して知らせます。



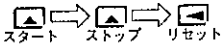
※計測の途中で最初からやり直すときは、[▲]キーを押してストップ後、[L]キーを押します。
※鳴っている電子音を止めるには、表示されているキーのいずれか1つを押します。

ストップウオッチの使い方

1/100秒単位で最大23時間59分59秒99(24時間)までの計測ができます。
計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測を続けます。



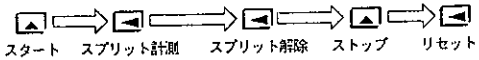
■計測のしかた(通常計測)



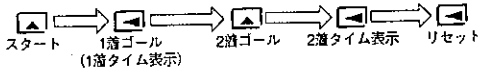
※積算計測…
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに[▲]キーを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

計測中に[L]キーを押すと「スプリットタイム計測」となり、以下のような計測も行なえます。
※スプリットタイム計測中は"SPL"が点灯します。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測



●1・2着同時計測



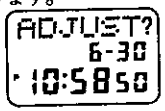
時刻の合わせ方

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻表示のとき[L]キーを1~2秒間押します

→セット待機表示(ADJUST?)となります。



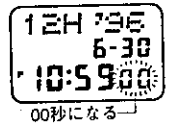
(2) [L]キーを押します

→「秒」が点滅し、秒合わせ表示となります。

(3) [▲]キーを押します

→「00秒」となります。
※秒が00~29秒のときは切り捨てられ、30~59秒のときは1分繰り上がります。時報は「時報サービス電話117番」が便利です。





(4) セットが終わりましたら、[L]キーを押します

→時刻表示に戻ります。
※[L]キーを押しても、時刻表示に戻ります。
※「秒」点滅表示のまま、2~3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正する必要はありません。

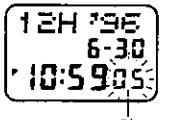
(1) 時刻表示のとき[L]キーを1~2秒間押します

→セット待機表示(ADJUST?)となります。



(2) [L]キーを押します

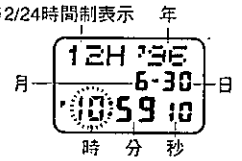
→「秒」が点滅し、秒合わせ表示となります。

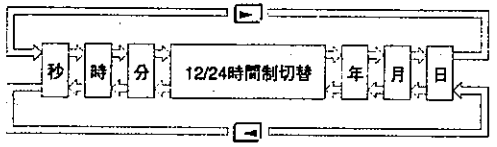


(3) [L]キーを押します

→「時」が点滅し、時合わせ表示となります。

このとき、[L]キーを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

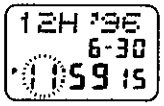




※[L]キーを押すごとに逆方向に点滅が移動します。

(4) [▲]または[▼]キーを押します

→[▲]キーを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進みます。
[▼]キーを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ戻ります。
それぞれ押し続けると早く進み（戻り）ます。



※年は1995～2039年まで合わせることができます。
※曜日は年月日を合わせると正しく表示されます。
※12/24時間制切替のときは、[▲]キーを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。

上記(3)～(4)の操作を繰り返して、時刻、カレンダーを合わせます。

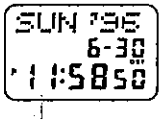
(5) セットが終わりましたら、[◎]キーを押します

→時刻表示に戻ります。

※[◎]キーを押しても、時刻表示に戻ります。
※点滅表示のまま、2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

●サマータイム設定

時刻表示のとき[◎]キーを2～3秒間押します



1時間進む

→"DST"マークが点灯し、サマータイム設定時の時刻になります。

※"DST"マークが点灯しているときに上記操作を行なうと、"DST"マークが消え、通常時刻に戻ります。
※サマータイム…DST（Daylight Saving Time）といい、通常の時刻から1時間進める制度のこと

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
基本機能：時・分・秒・年・月・日・曜日、午前／午後（P）／24時間制表示（24）、フルオートカレンダー（1995～2039年）
データメモリー機能：「名前8文字＋数字12桁」のデータを200件記憶、自動ソート機能、インデックスサーチ（プライベート／プレイ）、シークレット機能（パーソナルメモ）

〈記憶内容〉
- ●ビジネステレメモ　会社名／代表番号／個人名／各種番号（4種類×2）／メモ
- ●プライベートテレメモ　個人名／各種番号（4種類×2）／メモ
- ●プレイテレメモ　個人（店）名／各種番号（2種類×2）／メモ
- ●パーソナルメモ　プリセット項目（12種類）／タイトル／番号（1種類×2）

アラーム機能：時刻アラーム5本
セット単位＝分　電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回報時

タイマー機能：セット単位＝分　計測範囲＝24時間
計測単位＝1秒　電子音10秒間
リピート計測／オートリピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1／100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他：タッチスクリーンキー、自動復帰機能、12／24時間制表示切替、デモアラーム、ELバックライト、EEPROM
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-2016
電池寿命：約2年（1日あたりライト2秒間、アラーム20秒間使用したとき）
- ●ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
  1日あたり5秒使用→約1.6年（約19ヶ月）
  1日あたり10秒使用→約1.25年（約15ヶ月）
  1日あたり15秒使用→約1年（約12ヶ月）
  1日あたり20秒使用→約0.85年（約10ヶ月）

付録

■Q&A

Q1 どうして電池が消耗してもデータが保持されるのですか？

A データメモリー部に、メモリー保持のための電源を必要としないEEPROM*を使用しているからです。ただし、このメモリー部に対して、極度の静電気や衝撃を与えたり、極端な外的環境下（特に低温下）で使用した場合、データが変化したり、消えてしまったりすることがありますのでご注意ください。念のため、入力したデータは必ず他のノートなどに控えておくことをおすすめします。

*EEPROM＝Electric Erasable Programble Read Only Memoryの略

Q2 "BATT"マークが点滅しているのですが？

A これは、電池容量が減り、消耗時期が近づいていることを知らせる合図です。この表示が出るときは、お早めに電池交換を行なってください。なお、このときは、ビジネスモード、プライベートモード、プレイモード、パーソナルメモモードの各操作、およびライト点灯、時刻アラーム、時報、タイマー、操作確認音の報音は行ないません。

Q3 電池交換はどこで行なえばよいですか？

A 電池交換は、本機をお買い求めになった販売店、または本書巻末に記載のカシオサービスセンターにお申し付けください。
お客様ご自身で、むやみに裏蓋を開けたり、電池交換を行なったりすると、入力したデータが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

Q4 パーソナルメモのプリセット項目の正式単語を教えてください

A パーソナルメモのプリセット項目は略語となっています。正式単語は以下の通りです。

- ●BANK→BANK ACCOUNT No.
- ●CHK-ACCT→CHECKING ACCOUNT No.
- ●C-CARD→CREDIT CARD No.
- ●D-LIC→DRIVER'S LICENSE No.
- ●EMER→EMERGENCY
- ●I-NET→INTERNET ADDRESS
- ●LOCK→LOCKS（BRIEFCASE, LUGGAGE etc.）
- ●P-PORT→PASSPORT
- ●PIN→PERSONAL IDENTIFICATION No.
- ●SAV-ACCT→SAVING ACCOUNT No.
- ●SPEC→SPECIAL DATES
- ●V-MAIL→VOICE MAIL NUMBERS

本機は、1件あたりのデータ量によって、メモリーできる総件数が変わります。
※1件のデータが「名前8文字＋数字12桁」のときは、最大200件までメモリーすることができます。ただし、1件のデータをこれより多く入力したときは、メモリーできる総件数は少なくなります。（以下の表参照）
※パーソナルメモモードのプリセット項目の文字数は、タイトルに含まれません。

データ量 名前	数字	メモ	換算件数*	最大入力可能件数
8文字	—	—	0.5	400
8文字	12桁×1	—	1.0	200
16文字	—	—	1.0	200
8文字	12桁×2	—	1.5	133
24文字	—	—	1.5	133
8文字	12桁×3	—	2.0	100
32文字	—	—	2.0	100
8文字	12桁×4	—	2.5	80
8文字	12桁×5	—	3.0	66
8文字	12桁×6	—	3.5	57
8文字	12桁×7	—	4.0	50
8文字	12桁×8	—	4.5	44
8文字	12桁×8	8文字	5.0	40
8文字	12桁×8	16文字	5.5	36
8文字	12桁×8	24文字	6.0	33
8文字	12桁×8	32文字	6.5	30
16文字	12桁×8	32文字	7.0	28
24文字	12桁×8	32文字	7.5	26
32文字	12桁×8	32文字	8.0	25

*換算件数とは、「名前8文字＋数字12桁」のデータ量を1としたときに換算される件数
例1）「名前16文字」のデータは1件分
例2）「名前8文字＋数字12桁×2」のデータは1.5件分

ご使用上の注意

■防水性
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5 BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド
●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度
●直射日光が長く当たったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック
●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気
●磁気の影響はありません。

■薬品類
●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管
●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について
表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ご使用中、万一、液晶部に“◇CLOSE”と表示されたまま消えないときは、速やかにお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお持ちください。“◇CLOSE”と表示したまま裏ブタを開けるなど分解しますと、記憶したデータが消えることがあります。

お手入れについて

■お手入れのしかた
●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

■お手入れを怠ると
●「サビ」
● ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすること特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
● 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池
●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれていますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗
●電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」することがあります。
●電池の消耗時期が近づくと、“BATT”マークが点滅します。このときはお早めに電池交換を行なってください。



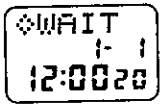
←点滅

●消耗した電池を使っていると故障の原因となりますので、お早めに交換してください。
● “BATT”マークが点滅しているときは
メモリーに記憶されているデータを保護するため、データ呼び出し、入力などのメモリーを使用する操作はできなくなります。また、アラーム、時報、タイマーの報知音、操作確認音、ライト点灯も行ないません。

■電池交換
電池交換は必ずお買い上げ店またはもよりのカシオサービスセンターにお申し付けください。

■お客様へ
電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店様へ
本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。
●使用する電池は
電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換前のご注意
裏蓋を開けたとき、万一、液晶部に“◇CLOSE”と表示されているときは電池を抜き取らずにそのまま裏蓋を閉じてください。しばらくしてからもう一度裏蓋を開け直してください。“◇CLOSE”表示のときに電池交換を行なうと、データの内容が変化したり消えてしまうことがあります。
●電池交換後のご注意
電池交換後、裏蓋を閉める前に必ずオールクリアー(AC)操作を行なってください。
※オールクリアー操作を行なっても、データが消えることはありません。
オールクリアー操作を行なうと、約15秒後に“◇WAIT”表示となります。これはデータが壊れていないか検査するためのものです。“◇WAIT”表示中はボタン操作できませんが、検査が終わると通常の時刻表示に戻り、時刻合わせ等の操作ができるようになります。



■エラーデータの処理
エラーデータがあると、ビジネス、プライベート、プレイ、パーソナルメモの各モードに入ったときに“ERROR!”と表示されます。このときは、以下の手順でエラーデータの処理を行なってください。

(1) [を1～2秒間押します]



→“SORT”または“CLEAR”が表示されます。

“SORT”…データの並び方に問題があり、データを並び替えると正常に戻る場合
“CLEAR”…データそのものが破壊され、そのデータを消去する必要がある場合

※データの状況により、どちらか片方しか表示されないことがあります。
※“SORT”が表示されるときは、下記(2)の操作を優先して行なうことをお勧めします。

(2) [▲（または▼）キーで“SORT”を選び、を押します]

→ソート表示となり、エラーデータを修正します。

※上記操作後、再び“ERROR”表示となるときは、エラーデータがなくなるまで、(1)～(2)の操作を繰り返し行なってください。
※エラーデータがなくなると、通常のモード表示に戻ります。

● “CLEAR”表示のときは以下の操作を行なってください。

(3)-1 [▲（または▼）キーで“CLEAR”を選び、を押します]

→エラーデータを表示したあと、“SURE?”を表示します。

(3)-2 [を押します]

ソート表示



→ソート表示となり、エラーデータを消去します。
※ただし、一度消したデータは、元に戻りません。

※パーソナルモードの暗証番号がエラーのときは、シークレットデータに入ると「暗証番号新規セット表示」となりますので、新しく4桁の数字を選んでください。以後、その番号でシークレットデータを呼び出すことができます。
このとき（キーを押すと、時刻表示に戻ります。）